

「松の湯」再生プロジェクト！

地域の皆様と共存していく ～ コミュニティスペースに生まれ変わる ～

せせらぎ通りにあった銭湯「松の湯」は昭和23年の開業以来、70年以上にわたり地域で愛されてきた銭湯でした。惜しまれつつ2年前に廃業してしまいましたが、奇跡的に蘇ることになりました！

この度、再生「松の湯」の番頭を拝命致しました神並です。私は勤めていたパシフィック不動産を退職し、この4月に自身の会社を立ち上げました。

松の湯との出会いは2020年の年末で、とある不動産業者さんより案内された物件でした。事情があり銭湯の運営が難しくなるため売却を検討しているというのです。

各方面に物件を紹介していくうちに、以前からお世話になっていたエイジェインタープリッジ（東京）様より連絡をいただき、興味があるお客様がおり物件を押さえてくれなにかと言われました。購入を希望されたのは東京にある法人で、購入の条件として「普通公衆浴場」の再建を提示されていました。銭湯の復活には費用・時間・労力がとてもかかります。それでも日本

の文化である銭湯を金沢に残していきたいという思いが強く、ここから松の湯復活のプロジェクトが始まったのです。

しかし、銭湯復活への道は決して平坦なものではありませんでした。まず最初にぶち当たった壁は、運営の許可を得ることです。「普通公衆浴場」を運営するには、行政機関の許可が必須でした。不動産会社の会社員であった私は、そんな許可など取ったことがなく、どのような手続きを踏めば許可が下りるのか――役場へ確認に訪れました。窓口で「普通公衆浴場」の許可を得るにはどのような手続きが必要かというところ、近年前例がないことから許可は難しいと言われたのです。それもそのはずで、一般家庭に風呂が備



わっていることが当たり前となっていた現代では、「普通公衆浴場」は廃業により減少していく一方です。役所としても新規の許可の話に驚いたことでした。

私はどうしようかと考えたあげく、金沢にある銭湯、百乃湯を営んでいる浴場組合理事の百々さんに相談しました。幸運にも百々さん

んは、私の中学時代の親友の父で、また偶然母校が同じで総同窓会でお会いしたことがありました。百々さんなら力になってくれるはず、そう思い相談したところ、「許可を取れない訳がない。なにか方法がある」と力強く言われ、様々な助言を下さいました。

そして、浴場組合の顧問小林前市議会議員を紹介していただき、松の湯復活プロジェクトについて説明する場を設けました。私どもの熱意が伝わり、小林さんも何か方法があるはずだと、協力して下さいることになりました。

金沢の銭湯を愛する絆で繋がった私たちは、何度も意見を交えて、許可を得る方法を検討しました。そして満を持して、百々さんを筆頭に5人のメンバーで再度役所へ協議



なっかしの 松の湯ギャラリー

昭和感漂う、
先代「松の湯」！

新生「松の湯」にも
ご期待ください！

る建物については、銭湯の部分以外にも様々なハプニングがありましたが、2021年10月26日になんとか物件の引き渡しを終えることができたのです。約1年半かかったプロジェクトが漸く終わってと安心したのですが、何故かその時私は寂しい思いも持ち合わせていました。

そんな時です。山家さんがさっと「神並さん、銭湯の運営をしてくれませんか」と言うのです。私はとても驚きましたが、悩むことなく「やります」と答えていました。銭湯の運営は私には未知の分野です。勤めていた会社からの独立は以前から考えていました。が、そこに銭湯の運営は入っておらず、まさに青天の霹靂でした。

生活形態ががらりと変わる可能性もあり、妻になんと説明するに「さくごく悩ましましたが、経緯を話すことで何とか納得してもらえました。」

松の湯が入るビルは2022年5月より1棟全体の改修工事がスタートし、9月末に完成予定です。銭湯のオープンには11月中旬に予定しています。

本施設で一番の見どころは、若手の方からベテランの方まで多様な作風の職人さんとコラボレーションした、オリジナルの九谷焼タイルの銭湯空間。銭湯文化の礎を築いてきた金沢の歴史、そして伝統文化を継承し、新たな時代へと受け継いでいく地域に根ざしたコミュニティスペースになります。

「松の湯」再生プロジェクト。多くの皆様

わる可能性もあり、妻になんと説明するに「さくごく悩ましましたが、経緯を話すことで何とか納得してもらえました。」

松の湯が入るビルは2022年5月より1棟全体の改修工事がスタートし、9月末に完成予定です。銭湯のオープンには11月中旬に予定しています。

本施設で一番の見どころは、若手の方からベテランの方まで多様な作風の職人さんとコラボレーションした、オリジナルの九谷焼タイルの銭湯空間。銭湯文化の礎を築いてきた金沢の歴史、そして伝統文化を継承し、新たな時代へと受け継いでいく地域に根ざしたコミュニティスペースになります。

「松の湯」再生プロジェクト。多くの皆様



松の湯再生プロジェクトに集まったメンバーは、総勢6名。それぞれに想いをいただき、松の湯再生へエネルギーを注いでいます。地域の方々に愛される銭湯を目指して、日々、奮闘中です！

かなざわ おふる旅新聞

発行所
石川県公衆浴場業
生活衛生同業組合
金沢支部

〒920-0912
石川県金沢市大手町2番22号
TEL：076-262-3026
<https://ishikawa1010.com>

発行所
石川県公衆浴場業
生活衛生同業組合
金沢支部

〒920-0912
石川県金沢市大手町2番22号
TEL：076-262-3026
<https://ishikawa1010.com>

目次

「松の湯」再生プロジェクト！	1
銭湯への想い	1
古き良き銭湯物語・落語もネタ作りも銭湯で	2
三度の飯よりお風呂が好き・銭湯の魅力は無限大！	3
若者が銭湯で働く楽しさ	3
金沢温泉 金石荘 20年ぶりに宿泊再開	3
年間変わり湯情報／スタンブラー情報／マイスター認定者数	3
銭湯への想い	1
古き良き銭湯物語・落語もネタ作りも銭湯で	2
三度の飯よりお風呂が好き・銭湯の魅力は無限大！	3
若者が銭湯で働く楽しさ	3
金沢温泉 金石荘 20年ぶりに宿泊再開	3
年間変わり湯情報／スタンブラー情報／マイスター認定者数	3

のお力添えをいただきながら、一緒に作りあげることができればとても嬉しく思います。オープンした際には、ぜひ入りに来て下さい。皆様にお会いできる日を心よりお待ちしております！

サウナの正しい知識と理解

今回はメディアでは取り上げられないマニアックなサウナととのい術を公開していこう。

金沢の港町(金石)にある元湯金沢温泉金石荘。肌効果に期待できる天然の保湿成分と言われているメタケイ酸も大量に含まれている『美人の湯』です。(128・9mg/kg) 1kgあたり50mg以上で『美肌の湯』、100mgを超えると『美人の湯』と言われる。まずは当店のお湯の特徴を、紹介させて頂きたいと思っています。

港が目の前という立地で地下1300mから湧き出る65℃温泉の泉質は『塩化ナトリウム強塩泉』で加水なし・ろ過なしの100%源泉掛け流しでとにかく濃い・熱い温泉が特徴です。

『塩化ナトリウム強塩泉』は、湯冷めしにくいことから「温まりの湯」とも呼ばれます。

又、塩分の殺菌力が強く傷や火傷などに対する鎮痛効果や、吸い込むことで痰を柔らかくして気道を浄化する作用もあります。

そのため、慢性閉塞性呼吸疾患(慢性気管炎・肺気腫など)の治療としても利用されています。

また、温泉の成分には保湿効果が高く、美



四季・群青の間

金沢の港町(金石)にある元湯金沢温泉金石荘。肌効果に期待できる天然の保湿成分と言われているメタケイ酸も大量に含まれている『美人の湯』です。(128・9mg/kg) 1kgあたり50mg以上で『美肌の湯』、100mgを超えると『美人の湯』と言われる。まずは当店のお湯の特徴を、紹介させて頂きたいと思っています。

港が目の前という立地で地下1300mから湧き出る65℃温泉の泉質は『塩化ナトリウム強塩泉』で加水なし・ろ過なしの100%源泉掛け流しでとにかく濃い・熱い温泉が特徴です。

『塩化ナトリウム強塩泉』は、湯冷めしにくいことから「温まりの湯」とも呼ばれます。

又、塩分の殺菌力が強く傷や火傷などに対する鎮痛効果や、吸い込むことで痰を柔らかくして気道を浄化する作用もあります。

そのため、慢性閉塞性呼吸疾患(慢性気管炎・肺気腫など)の治療としても利用されています。

また、温泉の成分には保湿効果が高く、美

金沢の港町(金石)にある元湯金沢温泉金石荘。肌効果に期待できる天然の保湿成分と言われているメタケイ酸も大量に含まれている『美人の湯』です。(128・9mg/kg) 1kgあたり50mg以上で『美肌の湯』、100mgを超えると『美人の湯』と言われる。まずは当店のお湯の特徴を、紹介させて頂きたいと思っています。

港が目の前という立地で地下1300mから湧き出る65℃温泉の泉質は『塩化ナトリウム強塩泉』で加水なし・ろ過なしの100%源泉掛け流しでとにかく濃い・熱い温泉が特徴です。

『塩化ナトリウム強塩泉』は、湯冷めしにくいことから「温まりの湯」とも呼ばれます。

又、塩分の殺菌力が強く傷や火傷などに対する鎮痛効果や、吸い込むことで痰を柔らかくして気道を浄化する作用もあります。

そのため、慢性閉塞性呼吸疾患(慢性気管炎・肺気腫など)の治療としても利用されています。

また、温泉の成分には保湿効果が高く、美

金沢温泉 金石荘

20年ぶりに宿泊再開



金石荘の情報は
こちらから



住所: 〒920-0336 石川県金沢市金石本町二91 電話番号: 076-267-0630
【公式】金沢温泉 金石荘 / <https://www.instagram.com/kanaiwasou/>

【宿 泊】
大人／1泊6,000円 小人／1泊3,000円 (小学生以下)
※入浴料込み (入浴時間／9:00～23:00)・食事なし
チェックイン／16:00・チェックアウト／11:00

【日帰り入浴】入浴時間／11:00～23:00
大人(高校生以上)／460円・中学生／300円・小学生／130円・幼児(0～未就学児)／50円
※日曜日は小学生、幼児無料
※学生は学生証提示で300円



8月



6月



1月
(初湯)



12月
(冬至)



11月



10月



9月

年間変わり湯情報

かなざわおふる旅

加賀棒ほうじ茶湯

金沢市百坂町のお茶のあずま園の棒ほうじ茶を贅沢に使用。さっぱりしたほのかな甘みと芳ばしい香りが特徴。



能登ヒバ湯

能登ヒバの間伐材を使用。とても良い香りがする大人気の変わり湯。

みかん湯

漢方薬にも使われる、みかんの皮を乾燥させた陳皮を使用。リラックス効果抜群。



柚子湯

血行促進効果で体の芯からポカポカ。風邪予防の効果も期待。



健美泉湯

健康な美をテーマにした天然生薬100%の薬湯。

菖蒲湯

全国的に5月5日の端午の節句に一年の無病息災を願って行われるが、石川県では旧暦にあたる6月上旬に入る習慣がある。



レモン風呂

暑い夏にピッタリ！スッキリ！爽やか!! 血行促進・美肌やリフレッシュ効果に期待。

かなざわおふる旅

スタンプラリー情報

記念品一覧

1・2巡(マイスター)

オリジナルトートバッグ

3～5巡(スーパーマイスター)

ケロリンググッズ
(ボディタオル・巾着・ストラップなど)

6～9巡(プレミアムマイスター)

ケロリンググッズ
(歯みがきセット・石けん・入浴剤)
バスピローなど

10巡(グランマイスター)

オリジナル木桶

11巡以降

金沢市内の銭湯で使用できる
無料(おとな)入浴券1枚



※在庫が無くなったら、内容が変更になる場合があります。
1～10巡は、オリジナルフェイスタオルも付きます。

プレゼント

かなざわおふる旅
マイスター認定者数
(令和4年7月末現在)

延べ人数: 1243人
(実人数: 455人)

- スーパーマイスター／110人
- プレミアムマイスター／57人
- グランマイスター／41人

あなたも/
スーパーマイスターを
目指しませんか?

サウナブームと銭湯

テレビや雑誌によると、今は空前の「サウナブーム」だそうだ。私は苦手だからめったに入らないけれど、サウナと水風呂に交互に入ると「ととのう」んだとか。

確かに最近、銭湯でサウナと水風呂を楽しむ若者の姿をよく目にする。石川県には40軒以上の銭湯があるけれど、すべての銭湯に水風呂はない。もっと言えば普通の浴槽1個だけの銭湯だってある。「サウナも水風呂もない銭湯に、460円も払うのはもったいない」そんな声を聞いたたびに残念に思う。

たった一つの浴槽に満たされた、暑くてきれいなお湯。郷愁を感じる佇まいに、脱衣所で交わされる常連さんの会話。サウナがなくなっただって銭湯はとっても楽しい。そんな楽しみ方を見つけてほしいな。

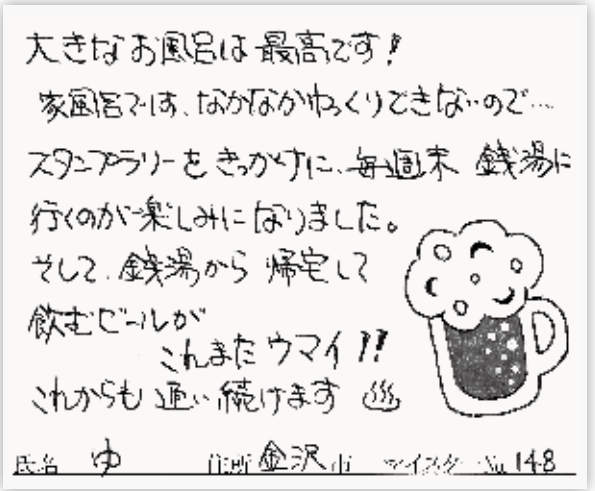
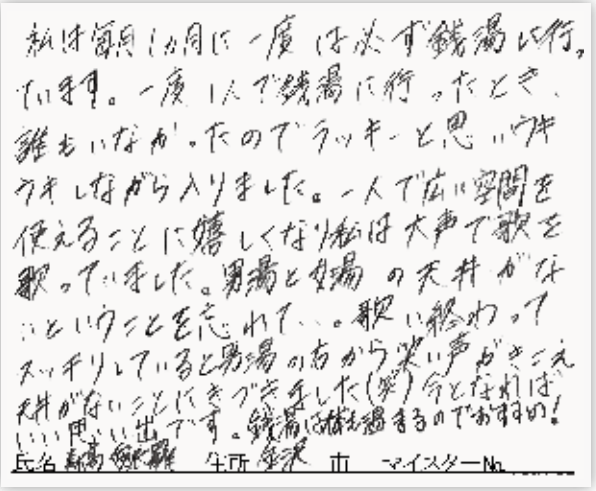
野村将彦(能美市)／マイスターNo.3

2021年1月中村町の『あわづ湯』から始まった私のかなざわおふる旅、それまでは大型施設をよく利用していたのでローカルな銭湯を訪れると毎回驚かされることばかり。

- 誰にでもローカル対応の番台さん
 - 火傷しそうなほど熱い湯船
 - 有名温泉に負けないほどトロトロなお湯
- 近所の子どもの絵が飾られた浴室
 - スプラッシュマウンテンのようなサウナ
 - 聞いたことがない曲ばかりの有線

どこの施設も特徴的だが必ず常連さんがいてそして愛されている。だがこの数年、廃業された銭湯が何軒もあり『いつまでもあると思うな親と銭湯』状態。老朽化もあると思うがファンとしてはなるべく銭湯文化が残ってくれることを願います。

蒸しらっきょ(金沢市)／マイスターNo.873



金沢市に引っ越してきて驚いたのは、市内に「まちの銭湯」がかなり残っているところでした。調べてみると、金沢市の温泉・銭湯支出額は全国でも上位であり、東京や大阪の銭湯の店主には石川県出身者が多いこともわかりました。

元々銭湯好きだった私は、当時3歳の息子を連れて足掛け2年かけて一巡目の「かなざわおふる旅」を達成。おふる旅のスタンプラリーを集めている中で、市内の銭湯はお店ごとに個性があることもわかり、徐々に息子にもお気に入りの銭湯ができたようでした。

そんな息子も、今は7歳。先日、あるお店に行った時にふと「あのスタンプラリーやりたい」と、とうとうおふる旅デビュー。

彼は何歳頃にマイスターとなるのか楽しみにしています。

須田曉憲(金沢市)／マイスターNo.768

2021年3月に、こちらの大学を無事に卒業した長男。その4年のあいだ、ただ彼の部屋の掃除をするために、年に2回ほど石川まで通っておりました。片道17時間かけて、九州からたくさんの荷物を積んで、車で行ってました。

2泊3日の間、夕飯も宿泊も寮でお世話に。ただ、お風呂だけは近くの額温泉に行っていました。

町の銭湯に行くのは、かれこれ50年ぶりのこと。幼い頃の思い出がよみがえり、私のひそかな楽しみになりました。

その息子も天国へ旅立ち、思い出の地となった、野々市のまち、そして町のお風呂屋さん。

これからは、自分のお風呂セットを用意して、心と身体を癒しに、額温泉に行きたいと思っています。

小濱尚美(佐賀市)

回数券と風呂道具

町のお風呂屋さんは、地域に根ざした普段使いの場所。

毎日同じ時間に来られる常連さんは、その都度入浴料を払わず、お得な回数券を利用されている方が多いようだ。

洗面器やカゴに自分の名前を書いて、脱衣場の棚にキープしている方も。いつもそれを見ていいなぁと思っていた私。ある時、番台に「このお得の入浴券ください」と伝え、「最近よく来てくださってありがとうね」と快く応じてくださった。

今日、その入浴券が最後の一枚になり、また新たに購入。勇気を出して「私の洗面器も、あの棚に置かせてもらえますか？」とお願いしたら、承諾してくださって、飛び上がるほど嬉しかった。これで明日から、常連を気取れる。

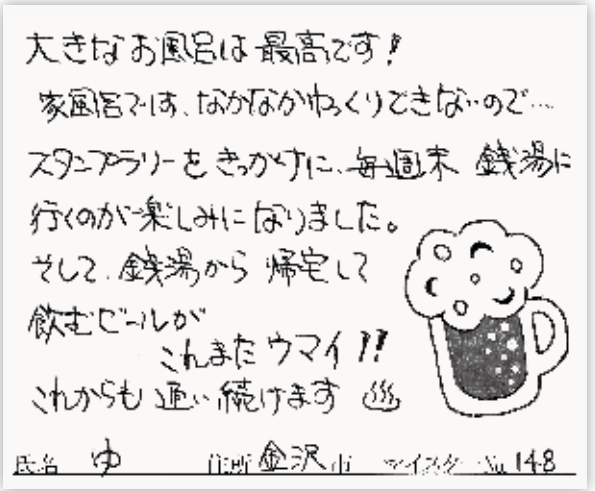
蒸しらっきょ(金沢市)／マイスターNo.873

2021年1月中村町の『あわづ湯』から始まった私のかなざわおふる旅、それまでは大型施設をよく利用していたのでローカルな銭湯を訪れると毎回驚かされることばかり。

- 誰にでもローカル対応の番台さん
 - 火傷しそうなほど熱い湯船
 - 有名温泉に負けないほどトロトロなお湯
- 近所の子どもの絵が飾られた浴室
 - スプラッシュマウンテンのようなサウナ
 - 聞いたことがない曲ばかりの有線

どこの施設も特徴的だが必ず常連さんがいてそして愛されている。だがこの数年、廃業された銭湯が何軒もあり『いつまでもあると思うな親と銭湯』状態。老朽化もあると思うがファンとしてはなるべく銭湯文化が残ってくれることを願います。

蒸しらっきょ(金沢市)／マイスターNo.873



かなざわおふる旅を知ったのは、全国のサウナ好きが集まる投稿サイト「サウナイキタイ」。

そこで、あるサウナーさんのおふる旅スタンプラリー投稿を目にし、私もやってみようと思い立ったのがきっかけ。

銭湯といえば、番台や脱衣場、浴場などに漂う昭和レトロな雰囲気。そんなレトロな銭湯をスタンプラリーという目標を持って巡ってしまうところが金沢おふる旅の魅力である。中でも、番台さんとのコミュニケーションは銭湯文化の宝だと思う。

残念ながら巡っている間に廃業されたお店もあり、今では応援したいという気持ちもラリーを継続している理由の一つ。そんなラリーも現在4巡目。これからも巡り続けていきたい！

ピルクル(金沢市)／マイスターNo.1125

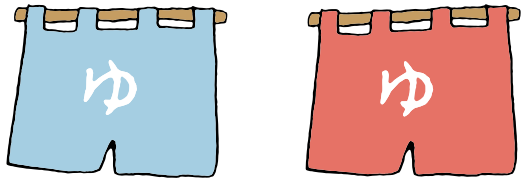


いちばん身近な銭湯の話。昔はただ汗をかけばいいと思っていた。サウナで倒れたことがきっかけで気が付けば銭湯への足が遠のいていた。

それから17年、再びサウナにハマリ帰還。特にここの冷たい水風呂にはなかなか入れずにいた。入れるようになりたい、と通いつめ2カ月かけて肩までどっぷり浸かれるように。サウナ室は何だか独特な匂いがして壁のレンガが落下してきたこともあった。

他愛無い話をして、決まった時間に同じ顔、特別なってない。銭湯はみんなの家だ。そんな日常の風景に私もいたのだった。中学生の私に伝えたい。あなたの銭湯愛はこの先ますます強まる、と。どうかこの先の未来にも銭湯がありますように。

CoHoKaのキク(氷見市)



みなさんから銭湯への
あたたかい想いが
届きました！



TVCMがきっかけで、銭湯が金沢に沢山あることを知り、それまで馴染みのなかった銭湯へ足を運ぶようになり、気付けばグランマイスターになっていました。昔ながらの薪を燃料にして沸かしたお湯は湯冷めしないし、スチームサウナや押し出し式のカランは銭湯ならではの。大きな温泉で非日常を味わうのも悪くないけど、ケロリン桶で体を洗い熱いお風呂でため息をつく日常は銭湯でしか得ることが出来ない至福の一時です。

イシカワ(加賀市)／マイスターNo.193

かなざわおふる旅マイスター認定を平成30年4月にうけて、グランマイスター認定を経て5月現在で、13巡を達成。

金沢の銭湯（風呂屋）文化に関心を持ち、金沢の江戸期の状況について調査。

文化8(1811)年に書かれた金沢町名帳を精査。金沢に38軒の風呂屋を確認。所在地は犀川以南に3軒、浅野川以北に4軒、両河川の間に31軒であった。惣構の橋番人で風呂屋を営む2軒が存したことは興味深い。浅野川大橋近くの橋場町緑地に江戸期（文化8年の金沢町絵図で確認）、大桑屋の営む風呂屋が有り、現地に立ち当時を偲んでみた。

現在、継続して日曜日にカミサンと市内の銭湯巡を行い、金沢の銭湯文化に触れ合っています。

坂野謙志(金沢市)／マイスターNo.51



銭湯好きな母の介護から生まれた喫茶店 ～おしゃべりcaféめてみみ～

今は亡き母は、若い頃から銭湯が好きな人でした。生活の中に銭湯が自然に存在していました。認知症と診断されてからもその習慣は変わらず、むしろ銭湯に通い続けたことで最後まで元気に母らしく過ごせたのではないかと思います。銭湯に通うことは、お風呂の準備、外出、お金を払う、衣服の着脱、会話など、高いレベルの身体機能や認知機能を求められるからです。高齢になった母と一緒に銭湯に行った時の出来事です。「今ね、食堂に働きに行っとるんよ。こんな年になっても雇ってくれるとていいところ。働いている人たちも優しくていい人ばかりねんよ」。湯船につかりながら真面目な顔で少し得意げに話す母。その話をとても興味深く聞いている同年代の顔なじみのお風呂友だち。「へえ～、そんないいところがあるんや。私にも紹介してほしいわー」。

少し離れたところから、そのやり取りを聞いていた私は内心ハラハラしていました。だって、母が話している食堂って、デイサービスセンターのことでしたから（笑）。

自分らしく過ごすには、好きなことを続けるのが一番大切だと思います。元気でいないと周りに迷惑をかけるからと、例えば、好きでもない脳トレなどを課題のようにやることに効果があるようには感じませんでした。私たちはそんな母の介護をきっかけに、いろいろな人が行っていたと思って、自分が暮らしている地域で、できるだけ長く暮らし続けることを手助けする居場所を作りたいと思うようになり、2020年7月1日に「おしゃべりcaféめてみみ」という喫茶店を築60年以上の古民家を改装して開業しました。人にとってケアとは何かを考えるちょっと変わった喫茶店です。

とはいえ、喫茶店を標榜するからには、料理も頑張ってます！週替わりメニューで野菜をたくさん使ったランチ、酒粕とまとカレー、昔懐かしい喫茶店ナポリタンなどを提供しています。もちろん、オリジナルブレンドコーヒーなどのドリンクやチーズケーキ、ガトーショコラなどの手作りケーキもあります。みなさん、遊びに来てくださいね。

[西崎史人／マイスターNo.31](#) [西崎真奈美／マイスターNo.32](#)

5/10月、5/20月、と自分のサイの小銭を数えて
いる私。車の中で夫はいろいろ話すから
お金か気になって全然耳に入らない私。
銭湯は460円なのに、堂々としていて
足りないと思って焦っているの。着いた
銭湯の主人は「こんなにスタンプ帳にハン
コ押しあるの、堂々としてないの？」私には「もう
すぐ結婚50年になるけど、夫にお金貸
してと言えない」と返事した。こんな親子の
銭湯めぐりです。
氏名 坂野素美 住所 西条市 山 マイスターNo.955

ふじの頃、家族で行く銭湯がとて楽しかった。
あの頃の銭湯は、今と違う一種のテーマパークのようなもの。
大きな風呂に入るのが嬉しかった。そして、風呂
エベリに番台横の冷蔵庫から取り出す冷たいアイス
ジュースやヨーヨー牛乳が美味しくて、寝たくな～。
歩いていく銭湯は、虫を採ったり、蚊に刺されたり。
暑く走り回ったり、時には父に抱っこしてもらったりと
家を出る時からワクワクしていたよ～。
今、かなざわおふる旅スタンプラリーで、こんな時
も思い出ばかり改めて銭湯を楽しんでいます。
いつの日か、もう一度、あの頃の銭湯を思い出して、
夫には言えない、これから自分も、夫と一緒に銭湯へ行く。
氏名 こまつ 住所 白川市 山 マイスターNo. 179

昭和生まれの私は、銭湯が
大好き♡ あったまるし...
いろんな方とのふれあいがありま
す。
入浴後のコヒ・牛乳・フルーツ牛乳
おいしかったです。
氏名 坂村弘美 住所 能美市 山 マイスターNo.179

6月下旬。かなざわおふる旅3巡目を石引温泉さんでゴールしました！

次の日、お財布を落としてしまい、クレジットカード等は停止して再発行できるけど【かなざわおふる旅】【かがのと湯めぐり】のスタンプカードも入っていたのに水の泡になってしまいました…😞

立ち直れず、これをネタに記事を書くことにしました。警察に届け出る際にお財布の中見を事細かく聞かれ、私はお風呂行くのが大好きなので『かなざわおふる旅の水色のカードとか、テ〇メ金沢のカードとか～無料券が5枚くらい～』←風呂のカードばかりやないかい！と1人ツッコミ。

【かがのと湯めぐり】のカードに関しては能登は制覇してなかったものの、今年閉店した川辺湯さんや東湯さんの貴重なスタンプもあったのでショックです😞

まぼろし～になった3巡目記録はおふる旅の黒色バックと写真撮ったインスタに残っています。

[emickey.39\(金沢市\)／マイスターNo.986](#)

夫婦揃って銭湯好きで、夏には暑さが少しおさまった夕方に自転車でくわな湯へ行き、ひと風呂浴びてサッパリしてから帰宅ルートにある定食屋さんで冷やし中華+ビールを味わうのが我が家の定番です。

子どもが生まれてからはなかなか気軽に行くことができず、また慣れない育児で夫婦喧嘩をすることも増えてきましたが（笑）、たまに一人で銭湯へ行って気分転換をすることで前向きに子どもと向き合ったり頭を冷やして夫と仲直りしたりすることができ、銭湯の良さを改めて実感しています。

1歳半になった娘はまだ家以外のお風呂が苦手な旅先でも大きな湯船に浸かることを怖がりますが、いつか家族揃って銭湯に行くのを楽しみにしています。

[なな\(金沢市\)](#)

銭湯に「通う」のは実に約30年ぶり。自宅の給湯設備の修理期間、「くわな湯」に通い、体と心が芯からほぐれたことをSNSで熱く語ったところ、友達から「スタンプラリーって知ってる？」と「かなざわおふる旅」を教えてもらいました。

徒歩圏内の5銭湯を巡った後は、休日にバスや鉄道を使って「遠足」を楽しみました。ラリー終盤、番台の女将さんから「どちらから来なさった？」「あらあ～、それは（遠くから）ようこそ。」と言っていました。

約30年前、金沢に住み始めた大学1～2年時の下宿生活、優しくった大家さんご夫妻、通った「ひろみ湯」のことを懐かしく思い出しつつ、ラリー2巡目チャレンジ中です。

[北川千恵\(金沢市\)／マイスターNo.1218](#)

北陸三県の新潟県、富山県、石川県は東京都の銭湯の聖地ともいえる縁ある県だと認識しています。

私の所属している広報委員会が企画したこんぶ湯にも手を上げて実施していただいた富山、石川県の銭湯には感謝します。

私が広報委員になった時に銭湯の歌を作ろうと、企画があり何曲か聞いたのですが、銭湯もりあげた～いがプロデュースした北脇さんの曲が素晴らしく使わせてもらいました。

曲はもう最高のできで、ビデオクリップまでよくできていました。耳に残る曲でつい口付さんしてしまう曲！

そんな名曲を作ってくれた北脇さんが東京で行われる銭湯サポーターフォーラムで即興で作ってくれた各銭湯の歌が素晴らしくてその中に妙法湯の曲があったのが嬉しくて、いつか本格的に曲を作ってとお願いしたところ、また名曲を作ってくれちゃいました！北脇さんありがとうございます。

[妙法湯・柳澤\(豊島区\)](#)

いろんな銭湯を子供達と行くことで親子の楽しみが増え会話も増えました。

幼い時に親戚の家からは百乃湯さん、自宅からは額温泉さん。旦那さんとのデートにれもん湯さん、お風呂上がりのコーヒー牛乳や、ケロリン洗面器等がいろんな想い出を呼び起こしてくれます。

銭湯でのルールは銭湯以外でも大切なことがたくさんあり、地域性もあっていいですね。これからもずっと続けてくれることを願っています。

[miiko\(野々市市\)／マイスターNo.196](#)

私が銭湯巡りにハマるきっかけの話になります。元々温泉巡りが好きでドライブがてら温泉に浸かりに行っていました。その流れでサウナにハマリスーパー銭湯のような大きな施設によく行くようになりました。

ところがここにきてのコロナ過により遠出する事や密になる事を避けねばならないという事態になってしまいました。

そうなるスーパー銭湯や温泉はどうしても密が気になります。しかし日頃のストレス解消はしたい、そんな時に存在は知っていたが挑戦していなかった「かなざわおふる旅」に取り組んでみる事にしました。遠くの施設はダメでも地元の銭湯なら混まない時間を選べば問題ないであろう、、、と。

正直それまでは銭湯にはあまり魅力を感じていませんでした。規模はどうしても大きな施設より劣るし積極的にいこうと思う事がなかったからです。

しかしいざ金沢の銭湯を巡ってみると一つ一つの銭湯に個性がありレトロな雰囲気もあいまりこれはこれでアリだな、、、と思えるようになりました。

大きな施設にはない銭湯の良さ、地元密着したゆっくりほっこりした雰囲気は大きな施設にはない癒しでした。温泉、サウナに加え新たに銭湯とストレス解消の選択肢が増えたのはとてもありがたい事でした。この度は楽しい企画に参加する事ができとても感謝しています。

[匿名希望\(能美\)・マイスターNo.912](#)



スーパー銭湯の様なザワザワと違って、地域の方や番台の方々との何気ない会話が楽しかったです。

小さな子どもが居てもマナーを知っているし不快が全くなく、のんびりする事ができました。

色んな意味で昔ながらの銭湯の良さを再確認できました。大切にしていきたいですね。

[まあさん\(野々市市\)／マイスターNo.60](#)



私が生まれ育った穴水町に物心ついた頃、近所に銭湯があった記憶は無いのですが、中学二年生の担任が風呂屋の息子で「子供の頃、手伝いで番台に座った時、好きだった女の子が入りに来てドキドキした…」という話を聞いて思春期だった私は

古き良き銭湯物語

北脇貴士

東京都在住(穴水町出身)
シンガーソングライター
かなざわおふる旅熱湯歌唱大使
銭湯せんとうセントリーの歌 作詞&作曲

3時半ぐらいまでやってましたが、お客同士で将棋や囲碁をさしたり親父さんと雑談したり、平成3〜4年でしたが昭和の古き良き雰囲気は漂っていました。その親父さんから「出身どこ?石川県?石川県は銭湯経営者が多いんですよ。ワシは広島

じゃけんど…(笑)。」と教えてくれて石川県と銭湯との繋がりを始めて知りました。それから20年くらいは殆ど銭湯に通う機会も減ってしまいましたが、私の目の前に三度の飯より銭湯好きな芸人さんが現れました。「ゴムパッチン」「よろしくねっ!」で一世風靡したコントゆーとぴあホープ師匠です。小原庄助さんの様にとにかく銭湯が大好きで暇さえあれば「銭湯行こう!サウナ入ろう!」と熱心に誘ってきまして、ホープ師匠と出逢った2年間くらいは都内某所の行きつけの銭湯に毎日通っていました(汗)。お陰でその頃は風邪もひかず快眠快食で芸に邁進しておりました(笑)。

そんな折、首都圏を中心に銭湯愛好家が結成した「銭湯もりあげた〜い」というグループの方々とご縁が出来「銭湯PR動画のテーマ曲を作って欲しい」と依頼を頂き作った「銭湯せんとうセントリーの歌」ですが、動画にマッチして随分色々なイベントで歌わせて頂きました。石川県内の銭湯の皆様にも撮影ご協力頂きました。その節は本当に有難うございました!



その銭湯もりあげた〜いのご縁で現在でも豊島区西池袋の「妙法湯」店主の柳澤幸彦社長はメディアやテレビなどで昨今の銭湯の状況を発信されるスポーツスマン、通称「銭湯界のスーパーキダイ」と勝手に命名させて頂いておりますが、その柳澤社長から依頼を頂き「妙法湯の歌」を作成しました。しかも2曲!(近日中に妙法湯サイトから披露されるそうです。)こうして私の少年時代から中年時代は、まるっきり統一性の無い銭湯ライフであります。私に素敵でワクワクする出逢い、ご縁、仕事を与えて下さいました日本の銭湯文化をいつまでも残してゆきたいと願いながら「この歌聴いたら銭湯に行きたくなった。入りに行こうかなあ。」と思って頂ける様な曲を世の中の皆様にお届け出来たらいいな〜。とっております。

ももで語り作湯落ネ銭

月亭方気

マイスターNo.105
金沢市在住(七尾市出身)
落語家
吉本興業所属:石川県住みます芸人
かなざわおふる旅熱湯話芸大使

私にとって銭湯はなくてはならない身近なオアシスです。仕事終わりに大きなお風呂でたっぷりのお湯に浸かり手足を思いっきり伸ばして「ぬうあ〜」と腹の底から声を出す疲れも一緒に吹き飛んで最高のリラックスです。お風呂の他にも歴史を感じるレトロな佇まいや店内に流れる昭和の時代が止まったかのような雰囲気にも癒されます。タイル絵やペンキ絵(県内では湊湯さん)、赤と青のカラーン、レトロマッサーシチェア、おかまドライヤー、コインタイマー、店内に流れる昭和歌謡ポップスの有線などなど。

ザ・昭和な空気に浸りながら休日に脱衣場のテレビから流れる笑点を何も考えずボケ〜と見ているときなどは平和な日本に生まれて良かったと素っ裸でご先祖様に感謝しだすほど至福のひとつです。また銭湯に通うことによって生業の落語にも役立ちます。ブツブツ呟く落語の稽古はお風呂やサウナに入りながらがちょうどいいんです。数を数える代わりに落語を稽古することでこの落語なら10分で終わるなどタイマー代わりになります。注意点は周りから見るとブツブツ独り言を呟く危ない奴と思われることです。

そんな落語やネタを通して大好きな銭湯の魅力を発信し銭湯を盛り上げることはできないかと石川県公衆浴場組合さんをはじめ多くの方々のご協力のもと月にいちど県内各地の銭湯を落語で巡る『銭湯数珠繋ぎ寄席』を開催しています。そもそもその昔は銭湯の2階が娯楽スペース・社交スペースとして利用されており、そこでは落語会も開催されていたので、きっと銭湯と落語は相性が良いだろうと思



い開催に至りました。現在はコロナ禍のため開催を見送っております。2020年2月までに16銭湯で21回開催

させて頂きました。具体的には銭湯の脱衣場や休憩スペースに高座をつくり落語を2〜3席1時間半ほどやらせて頂きます。入場料は入浴料460円のみで落語は投げ銭制。落語を聞いて面白ければケロリンの桶にお気持ちをを入れて頂くシステムです。お気持ちですから金額も中身も色々で過去にはこれで美味しいもの食べたりとポチ袋を入れてくれたお客様がいらっしやりました。後ほど期待に胸を膨らませ中身を確認すると吉野家の割引券だったこともあり。ですので、肩肘はらず気楽に見に来て頂ければと思います。もちろん入浴券が付いてきますので落語のあとはお風呂を楽しんで頂けます。この取り組みでこれまで銭湯に馴染みのなかった方々に銭湯の魅力を知って頂き新たな集客に繋がればと思います。

三度の飯よりお風呂が好き

30年前、金沢市若草町に「若草湯」という銭湯があった。そこが自分の銭湯愛の原点となった浴場。遠い親戚が経営していたこともあり、幼少期の頃から毎週のようにばあちゃんと手をつないで銭湯通い。出入口右が女湯だった関西式の銭湯。真ん中に泡風呂があり、奥には鯉が泳いでいる池を眺められる真っ赤な高温薬湯。脱衣場に上がる前は「風邪ひくといけないから。」という理由でいつもその高温薬湯に浸からされ、嫌々言いながらカウントダウン。当時は女湯しか入ったことがなく、よく地元の常連さんに可愛がってもらったことも思い出す。何度か番台に座らせてもらったこともあり、暖簾一枚で男女行き来できることに感激しながらも、銭湯は男湯と女湯が「左右対称」という作りを知ったのも若草湯だった。そんな思い出のつまった若草湯も後継者不足から約15年前に廃業。当時番頭をしていたお母さんも3年前に天国へ旅立ち、今は改装された自宅がそのまま残っており、お風呂屋さんがあったという面影は全くない。

それ以来、私の風呂好きは変わらず、学生時代もアルバイト先はスーパー銭湯。求人があるか何も調べることなく電話したのを覚えている。理由はお風呂入り放題だから。お風呂が好きだから。ただそれだけ。現代の若者は多くが「町の銭湯＝公衆浴場」より健康ランドのような「スーパー銭湯」に足を運ぶ。確かに健康ランドのような施設

は飲食もできる、友人と長居できる、宿泊できる、娯楽施設もある、風変わりなお風呂がたくさんあるという魅力が多くある。

ただ、「町の銭湯」には健康ランドにはあまりない人情や独特の雰囲気がある。熱々のお風呂やサウナ、蒸された浴場内の空気感やにおい、近所の常連さん同士の話声、ワンコインで入浴できるこの上ない極楽気分。それらがすべて町の銭湯には溢れている。また赤と青のプッシュ式のカーンや固定シャワー、数えきれないほど多くの赤ちゃんが愛用したであろう木製ベビーベッド。そして今ではあまり見られなくなった10円のマッサージ機や測り式の体重計。これらは銭湯にしかない古き良き遺産ではないだろうか。こういう時代の名残ですら銭湯は我々に語り続けてくれる。「健康ランド（スーパー銭湯）」と「公衆浴場（町の銭湯）」、暖簾をくぐれば、その先にお風呂があるという共通点に変わりはないが、環境や持ち味がそれぞれの個性として表現されている。家のお風呂ではなく、たまに



ガイドブック制作のメンバー



白骨温泉

は手足を伸ばしてどっぷり浸かれる大きなお風呂へ。そんな銭湯の良さをこれから体感しながら1日の疲れを癒して睡眠に入ってほしい。



村山市長(右)

高島 悠

「おふる旅チェアマン」として、銭湯文化継承、発展のためのPRへの協力、かなざわおふる旅マスター倶楽部の運営統括に従事。過去に「かなざわおふる旅ガイドブック」を制作・発行。全国巡った温泉地は北海道から鹿児島まで約70か所。

・かなざわおふる旅グランマスター
・温泉ソムリエ ・温泉観光実践士

ナビゲーター 西の

銭湯の魅力は無限大!

私と銭湯の出会いは、大阪で学生生活をスタートしたこと。銭湯初日、番台のお兄ちゃんに「ねえちゃん能登のひとやろ?言葉でわかったわ。俺もそうやから」と言われ、これからシティガールを目指していた私は以来、そのお兄ちゃんと言葉を交わすことはなかった。オフロなしの下宿生活だったので必要にかられて行くぐらいにしか当時は銭湯への熱い想いがなかった。まさに生活の一部だった。そこから月日はながれ、入ったアマチュア劇団が、主宰をはじめみんな大のオフロ好きで、オフロ博士といっても過言ではないくらい北陸のオフロを網羅していたメンバーに囲まれ、自然とオフロ好きになりいろんなオフロに行くようになった。そこから私のオフロ好きに火がついた。様々なオフロに足を運べば運んだ数だけ魅了されていた。何がいかって、あの独特な空間。マイナスイオンたっぷり大きなオフロに入



るだけで癒される。「ああ極楽極楽」と言ってしまうにはいられない。その土地ならではの、味わい深い体験ができるのも銭湯ならではの。コアな体験もいっぱいあった。そして、かなざわおふる旅の企画ができて金沢市内すべてのオフロにはいってみると、同じ金沢市内でもこんなに雰囲気が違うものかと驚かずにいられないくらい、それぞれいい味をだしている銭湯に出会える。そして、オフロ好きに悪い人はいない。かなざわおふる旅の企画を通して、貴重な出会いがたくさんあった。銭湯やオフロの話題は本当に楽しい。話が弾む。こんなこと今までなかった、心が躍った!ならば、オフロ好きが集まって語りあえる場を作りたい。とイベントを立ち上げたが、そこで一緒に開催している大切なパートナーもかなざわおふる旅を通して知り合った仲間だ。というか、かなざわおふる旅の企画がなければ私のイベントは企画倒れだったと思う。かなざわおふる旅は私にとってなくてはならない存在です。銭湯は、見方をかえると魅力が1000倍増します。そのお手伝いを、ナビゲーターとしてできればなあ。と微力ながら思っています。皆さんのご協力なくしては何にもできないので、これからも宜しくお願いします。

見方をかえると
銭湯の魅力が
増しますよー。

ナビゲーター：西

世代を問わず、
心がほっこりする

オススメの絵本



パンダ銭湯

作：tupera tupera
出版社：絵本館

銭湯というネーミングだけで、手にとった絵本だったが、ページをめくっていくとアツという間にひきこまれた一冊。えっそんな展開?かわいいというか。おもわずにっこり微笑んでしまいます。パンダの親子が通いつめる銭湯。そこには…。疲れた時にめくると、癒される絵本。親子で読んでもらいたい。愛情たっぷりの物語です。

金沢星稜大学経済学部経営学科

坂頭陽歩

私は百乃湯に来て、日々地域の方々と直接お話をすることが楽しいなと感じています。私は百乃湯のメンバーの中で一番最近入ったばかりなので、わからないことが多々あったのですが、以前から百乃湯に来られている地域の方々に反対に色々とお教えていただくということもありました。

番台に立つのは一人なので初めは不安を感じていましたが、「頑張って」と声をかけてもらうことが多く、その度に元気をもらうことができます。そのため、百乃湯にいと「地域に根付いている」ということを実感することができました。

また、お客様には遠くから訪ねてこられる方や、幅広い年齢層の方がいらっしゃるのて様々な人が集まる場だなと感じます。そして、百乃湯は昔ながらの雰囲気が残っている銭湯だとも思いました。百乃湯では薪を使ってお湯を沸かしていると聞いた時は本当に驚きました。このような銭湯は今ではもう少ないと思います。そんな貴重な経験ができる場所だと思っています。

銭湯で働く楽しさは、他のどのアルバイトとも違ったものがあって新鮮です。薪を焚べる作業、ポンプやシャワーなどの機械に触る作業は、銭湯ならではの作業なのでとても楽しいです。

また、最近では、百乃湯のアルバイトTシャツを作成するために、Tシャツのデザインを考案する機会をいただきました。なかなか無い機会なので、とても嬉しく楽しくデザインを考案することができました。

銭湯は、老若男女問わずお客様がいっぱひいます。働く前は、ご高齢の方が多くいらっしゃるイメージだったのですが、学生のお客様も意外と多いです。フレンドリーに接してくださるお客様が多く、つつい話弾みすぎてしまうことも…。色々な方々と交流できる点は、とても魅力的に感じています。

銭湯で働いていることを友人に話すと、とてもびっくりされます(笑)若い人たちには、それほど馴染みがないのかもしれませんが、魅力と楽しさがたくさん詰まった場所だと、働いているからこそ感じられるものもあります。古き良き銭湯の魅力が多くの方々に伝わるよう、日々楽しく頑張りたいです。

金沢星稜大学 経済学部経営学科
佐藤 友希



若者が銭湯で働く楽しさ

彼女たちは、いまだきの若者である。

およそ馴染みが薄いであろう、「銭湯」というこの場所の何に惹かれ、何を感じ、何を想っているのか…

その、こころのうを聞いてみました——

はじめて「番台のバイトをしないか?」と言われた時は、正直、特に何かを期待するわけでもなく、「なんとなく面白そうだからやってみよう」という気持ちで始めたのを覚えています。

しかし、当時のその安易な気持ちとは裏腹に、今では番台に立つことが日々の楽しみとなっている事が、自分でも信じられません。

百乃湯に初めて足を踏み入れた日、初めて番台に立った日のことは今でも鮮明に覚えています。初めて行う仕事では、誰しも緊張が伴うと思います。私も、初日に一人で番台を任せられた時は、「失敗したらどうしよう」「お客さんに何か聞かれたらどうしよう」とたくさん心配を抱えていました。

しかし、そんな心配を一掃するかのように、百乃湯のお客様はすごく優しく、温かい方ばかりなのでした。新しく入った私を、「新しい学生の姉ちゃん」という風に温かく迎え入れて下さり、たくさん喋りかけて下さったお陰で、安心して仕事を全うすることが出来たのを覚えています。

それからは、番台に立った日には毎日お客様との会話を通し、笑顔が絶えません。お風呂もぬくぬく、人も温かい銭湯です。私は、そんな百乃湯が大好きです!

▲▲▲▲▲

金沢星稜大学 人間科学部スポーツ学科
江守 未南海

▶▶▶▶▶

金沢大学 人間社会学域地域創造学類
河端 陽菜乃

もともと昔ながらの銭湯に通う習慣はなく、百乃湯と出会ったのは、サークルでフリーペーパーを作成するため取材に訪れたことがきっかけでした。

その後「働いてみないか?」と声を掛けていただき、アルバイトとして番台に立つようになりました。取材を通して、薪を焚いてお湯を沸かす、浴槽に竹炭が入っているなど、素敵な魅力がある銭湯だと分かっていたので、働けることに大きな喜びを感じていました。

働き始めてから、公衆衛生の要所としての機能はもちろん、地域の人が集う交流の場としても重要な役割を担っていることを実感しています。脱衣所やロビーで飛び交う地域の方々のお話は聞いているだけでもほんわかします。

また番台にいる私にも話を振っていただくことも多く、大学生活では触れられないだろうお話をたくさん聞くことができます。百乃湯のInstagramアカウント運営も、働くやりがいの1つになっています。投稿を見てくれる方々の笑顔を思い浮かべながら、こだわりを込めて掲載画像を編集する時間がなんだかんだ1番楽しい時間かもしれません。これからも皆様にあたたかい百乃湯をお伝えしていきたいです。

～かなざわおふる旅新聞

マル○×クイズ～

- 1問 全国の銭湯浴場組合に加盟する銭湯で、小人料金が最も安いのは石川県である。
- 2問 全国で一番多い銭湯の屋号は梅の湯である。
- 3問 銭湯でよく目にする桶、黄色い底にはケロリンと記してある通称ケロリン桶には、関西バージョンと関東バージョンがありますが、石川県内の銭湯で多いのは、関東バージョンである。

答えはこのページの一番下にあります。

● 編集後記 ●

かなざわおふる旅新聞をお読みいただきありがとうございます。今年、町の銭湯が減りゆく現状ではございますが、今一度銭湯を盛り上げたいという強い思いから、この企画が生まれました。そして銭湯愛溢れる皆様からの投稿や、銭湯と共に生きる方々の熱意ある言葉をいただいて発刊へと辿り着くことができました。今後も第2号、3号へと発刊を期待ください。ということで今日も明日も銭湯へ行きましょう!

チエアマン 高島 悠
ナビゲーター 西彩巴子

汗だらだら

暑っーい夏の日の夕暮れに熱っーい銭湯の湯船の中。女湯の方からは近所の常連さんや子供の笑い声。んっ、若い娘もいるみたい!などと妄想しながら、今日もダイエットと旨いビールを飲むためにもう少し我慢して熱い湯につかり汗をかく。

以前、お風呂好きの方から「銭湯やサウナって思いっきり汗かいた後の冷たい水シャワーや水風呂、湯上りの爽快感が気持ちいいのでお金出してでも来るんだよねー」って聞いたことがある。確かに汗を流すだけなら家庭でのお風呂で十分な気がする。しかし、私も含めてお風呂好きの人は、とくに銭湯ではつつい我慢して汗をかき、その後の気持ち良さを追求してしまうようだ。大きな湯船を持つ銭湯の最大の魅力とは、入浴後の冷水刺激や湯上りの爽快感なのか?

寒い時期に冷えた身体を温かい湯船に浸す時も一つの魅力だが、その季節でもやっぱり汗だらだら⇒冷水刺激⇒爽快感のスパイラルに陥ってしまう。

近年この温冷浴(温冷交代浴)が健康に良いことが提唱されている。

期待される効果: ダイエット効果、むくみ改善、疲労回復、アレルギー症状の改善、自律神経を整える、冷え性の改善、低血圧の改善、うつ病の予防、美肌効果、育毛効果、医学的にも。

これは身内の浴場組合のHPですが、血管の拡張・収縮作用が起因しているようです。

銭湯の魅力はその他にも多々あるが、いずれにしても健康な心身を保持していないと銭湯にも行けなくなる。爽快感⇒健康⇒銭湯⇒爽快感⇒健康⇒銭湯…

このスパイラルをもっと多くの方に伝えるうえでも、この新聞の役割は非常に大きいと考えています。

百乃湯オーナー 百々和弥

